

# 令和 2 年度 旭地区 わくわく事業 実践報告書

令和 2 年度は、13 の団体が、精力的な活動を展開しました！

事業名	団体名	主な活動場所
安否確認旗の活動事業	幸せの黄色いハンカチ運動の会	大坪町内
森は私たちを育て いつかは田舎へ事業	あさひガキ大将養成委員会	旭地区全域
福祉農業実践プロジェクト事業	メグ友会	敷島自治区内
林育推進事業	あさひ根っ子の会	旭地区全域
やさしい暮らしがにつながるプロジェクト事業	やさしい暮らし委員会	旭地区全域
小渡商店街休憩所整備事業	おどの夢をかなえる会	小渡町内
地域減災啓発事業	旭 GS ボランティア	旭地区全域
竹林の環境整備事業	有間竹林愛護会	有間町内
地域の施設とコミュニティ、特色を活かした、魅力ある子育ての環境整備事業	みんなのしきしまプレーパーク	敷島自治区内
あさひの木を使おまい事業	旭もくもく会	旭地区全域
ヤギとわくわくプロジェクト事業	ヤギ飼いの会	旭地区全域
持続可能な農村モデルづくり事業	歴史と自然豊かな押井づくりの会	押井町内
旭中サンライズプロジェクト事業	旭中サンライズプロジェクト	旭地区全域

## 【旭地域会議からのお知らせ】

より多くの方に、旭地区のわくわく事業の実施状況をお知らせするために、平成 30 年度から、各団体の活動状況を取りまとめた報告書を回覧しています。

1 年間の活動の成果を、ぜひご覧ください！

## 安否確認旗の活動事業

団体名：幸せの黄色いハンカチ運動の会

代表者：安藤 幸典

補助回数：1回目（R3申請 無）

活動場所：大坪町内



### 事業の目的

町民相互の安否確認活動を通じた、病気や不測の事態の早期発見、「助け合い」「連帯」意識の向上、犯罪抑止。

### 今年度の活動内容

- ・安否確認旗（黄色い旗）を各世帯に配布し、毎日軒先への出し入れを実施。
- ・旗の目視や電話での安否確認、担当者による訪問を行い「安否報告表」による報告を実施。
- ・安否確認旗活動の手引きを作成し、全町民に配布。
- ・「安否確認旗活動実施中」の看板を設置し、活動の周知と犯罪抑止を実施。

### 事業効果

町民相互の安否活動を通じて、ひとり暮らし高齢者の健康状態の確認ができた。  
また、ゴミ出し・留守の報告・電球の交換などの援助が生まれ、町内のコミュニティが豊かさを増した。

### 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 165,000円**

消耗品費（85,536円）、備品購入費（49,896円）、設備費（28,512円）、  
通信運搬費（1,080円）

## 安否確認旗の活動事業 活動状況



安否確認旗の準備作業



看板設置作業



大坪町への入り口5か所に看板を設置



軒先に安否確認旗（黄色い旗）を設置



軒先に安否確認旗（黄色い旗）を設置



# 森は私たちを育て いつかは田舎へ事業

団体名：あさひガキ大将養成委員会

代表者：安藤 征夫

補助回数：6回目（R3申請有）

活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

- ・自然を体感し、その良さを感じる活動から田舎回帰の想いを育み、定住に結びつける。
- ・子育て環境の充実、親同士の仲間づくり、子どもの居場所づくり。
- ・自然の中で大人や子どもが相互に学びあう。
- ・ツリーハウスや遊具づくりを通じ、自主性、考察力や課題解決力など生きる力を学ぶ。

## 今年度の活動内容

- ・木工教室、蜜蜂生態調査、果樹園整備などの自然体験の実施。
- ・ツリーハウスや遊具づくりの実施。
- ・登山、薪割り、草木染講座、小遣い稼ぎ、道具の使い方など自然の中で生きる活動の実施。

## 事業効果

- ・自然の中で活動することにより田舎志向が強まったとの感触を得た。
- ・参加した子どもたちが抱える様々な課題解決に繋がり、保護者から「子どもに自主性ができた」「想いを伝えることができるようになった」「友達づくりができた」等の声があった。
- ・多くのメディアや行政に活動が評価され、旭の良さや活動が全国に広まった。

## 補助金交付額と内訳（上限補助額）

**補助金交付額 1,000,000円**

報償費（332,000円）、消耗品費（70,323円）、燃料費（41,208円）、通信運搬費（61,488円）、手数料（57,280円）、保険料（3,420円）、使用料（27,000円）、原材料費（408,209円）

## 森は私たちが育て いつかは田舎へ事業 活動状況



子どもたちが自ら考えて遊具を作る



楽しくツリーハウスづくり



辛さの後は喜びが待っている 蓼科山登山



熊野古道で歴史と自然を学びます



シイタケの菌打ちで育て方を学びます



世界に一つだけのお絵描きメロン完成！

# 福祉農業実践プロジェクト事業

団体名：メグ友会

代表者：林 綺

補助回数：3回目（R3申請 無）

活動場所：敷島自治区内



## 事業の目的

- ・野菜作りを生きがい（目標）として、日々暮らせる環境づくりによるメンタル面の健康促進（認知症予防対策）
- ・自ら能動的に健康を維持促進するための基礎知識の習得及び身体機能訓練
- ・生きがいや健康づくりが共通する者同士のコミュニケーションの助長

## 今年度の活動内容

- ・健康講座…市地域保健課、ぬくもりの里、足助病院の指導を受けながら5回開催し、延べ116名が参加した。ストレッチ体操・筋力アップ体操を取り入れながら、身体機能測定及び診断、高齢者の栄養と食生活、インターバル速歩の理論と実技、介護予防活動の在り方を学び、実践した。
- ・野菜作り講座…4回開催し、延べ88名が参加した。情報交換と季節野菜の管理等を行い、野菜作りのスキルとモチベーションアップを図った。
- ・共同ほ場活動…19回開催し、延べ174名が参加した。スイートコーンとソラマメを組み合わせて共同活動を図った。

## 事業効果

健康講座により身体機能が維持あるいは向上する傾向が見られ、効果が期待できた。野菜作り講座によって技術アップや意欲の醸成が見られ、野菜作りが生きがいとして大きく貢献しているものと実感できた。さらに、共同ほ場活動では、大いなるコミュニケーションが取られ、高齢者の孤独感が払拭できる可能性を見出した。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

補助金交付額 102,000円

報償費（45,000円）、食糧費（12,143円）、消耗品費（44,857円）

## 福祉農業実践プロジェクト事業 活動状況



健康講座を受講



認知症サポーター養成講座を受講



インターバル速歩実技指導



共同ほ場で野菜作り

## 林育推進事業

団体名：あさひ根っ子の会

代表者：林 富造

補助回数：5回目（R3申請有）

活動場所：旭地区全域



### 事業の目的

旭地区内の園児・児童・生徒を対象に山や川での体験学習を行い、森本来の持つ働き（針葉樹と広葉樹、昆虫や鳥、小動物などの暮らしやきのこや山菜、山の保水力）を学び、森の豊かさに触れる機会を提供する。

### 今年度の活動内容

山や川や地域の方と触れ合う機会を提供しました。

小渡小学校…そり遊び、竹林を守る話と竹を使ったおもちゃ作り、森の健康診断

敷島小学校…「発見！敷島学区の〇〇名人」、木材の流通と活用について、植物（ツクバネ）観察、旭地区の獣害の現状と対策、森林組合のお仕事、旭高原元気村見学、森の健康診断

### 事業効果

地域学習に力を入れている旭地区の学校教育において、実際に歩いて調べる活動は重要であるが、旭地区の広さ、点在している見学場所を歩いて調べることは、交通機関、かかる時間を考えると限界がある。そのため、この事業によるレンタカーの用意、講師の紹介や講師派遣は、子どもたちにとっても大切な学習機会の確保に繋がり、本活動が十分役割を果たしていると考えます。

### 補助金交付額と内訳（補助率 10 割）

**補助金交付額 266,000円**

使用料（266,000円）

## 林育推進事業 活動状況



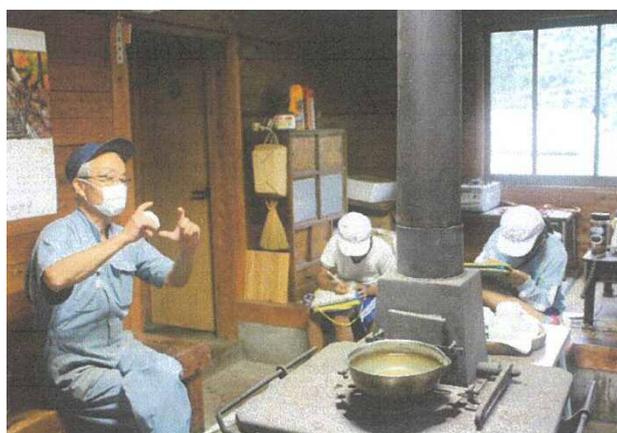
有間の竹林と竹馬づくり (小渡小 3.4 年生)



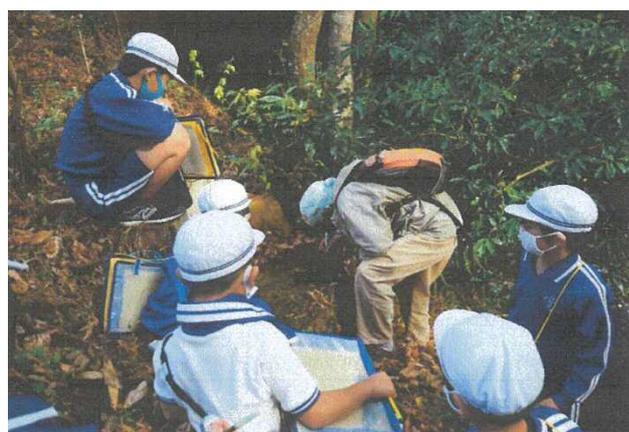
間伐後の森の見学 (小渡小 5.6 年生)



釣り名人 高橋さんを訪ねて 釣り体験  
(敷島小 2 年生)



木材の流通と活用について学習 (敷島小 6 年生)



植物 (ツクバネ) 観察 (敷島小 3 年生)



旭高原元気村で牛のエサやり (敷島小 4 年生)

# やさしい暮らしがつながるプロジェクト事業

団体名：やさしい暮らし委員会

代表者：戸田 友介

補助回数：5回目（R3申請 無）

活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

私たちの「旭」には、自然や文化、暮らしかたや生きかた、まちづくりの取り組みなど、大切に引き継ぎ、受け渡していきたい事柄が数多くあります。

これら「コト」「モノ」「ヒト」が出会い、みんなで再認識することで、新たなまちづくりにつながる関係を生み出すとともに、We Love あさひの機運を醸成することを目指します。

## 今年度の活動内容

旭交流館やぬくもりの里など地域コミュニティの拠点と協力しながら、月暦「あさひごよみ」を毎月発行しました。

## 事業効果

学校、交流館、ぬくもりの里、観光、地域行事、防災、他団体などのスケジュールなど例年より盛り込む情報も増え、より広く地域で活用されるツールとして浸透していると感じました。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 88,000円**

印刷製本費（68,220円）、手数料（20,650円）

# やさしい暮らしがつながるプロジェクト事業 活動状況

## 旬の月曆

# あさひごよみ

やさしい暮らし委員会

地域のことをお互いに知り合うところから、やさしい関係がうまれる、そんな想いを込めて、ぬくもりの里の利用者さんの素敵なお個性あふれる貼り絵とともに、月曆をお届けしています。



今年度は会合も Zoom 開催

令和2年度で、わくわく事業は卒業しますが、自主財源を確保しながら、今後も発行を続けていきます。ありがとうございました。

# 小渡商店街休憩所整備事業

団体名：おどの夢をかなえる会

代表者：鶴居 利行

補助回数：1回目（R3申請有）

活動場所：小渡町内



## 事業の目的

小渡の商店街の中心に休憩所を整備することで、観光客や地域住民の満足度を向上させるとともに、情報発信の拠点として活用することで、地域の活性化につなげる。

## 今年度の活動内容

- ・地域材を活用して休憩所の壁面と床を木質化（木の板を貼る）し、夏の観光シーズンの熱中症対策のため、エアコンを設置した。
- ・旭地区や近隣の観光案内や店舗のパンフレットを設置した。

## 事業効果

コロナ禍で思うように作業が進まなかったが、計画通り壁面と床の木質化とエアコン設置ができた。エアコンを利用することで、特に夏の暑い時期には熱中症対策にもなり、小渡を訪れた人がゆっくりと休憩できるスペースができた。また、観光案内パンフレットを置くことで、旭の良いところを積極的にPRできる場所となった。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 373,000円**

備品購入費（86,500円）、原材料費（287,199円）

## 小渡商店街休憩所整備事業 活動状況



休憩所の整備計画について打ち合わせ



作業風景



着工前の外観



完成写真 外観



完成写真 内部



観光案内パンフレットを設置

## 地域減災啓発事業

団体名：旭GSボランティア

代表者：安藤 福平

補助回数：6回目（R3申請有）

活動場所：旭地区全域



### 事業の目的

大地震・風水害にいつ被災するかわからない昨今、高齢化や過疎化が進むこの旭地域で、「自分の命は自分で守る」ことの住民への意識づけと平常時に減災知識啓発を行うことで、発災時の被害を減らすことを目的として活動する。

### 今年度の活動内容

- ・地震・土石流の減災について自主研修会を実施した。
- ・築羽ふれあいサロンにて減災啓発活動を行った。

※コロナ禍で予定していた活動支援、協力のほとんどを中止せざるを得なかった。

### 事業効果

コロナ禍により活動支援、協力が中止されたが、自主研修を行うことができた。今後も、いつどこで災害が発生しても不思議でない中、この平時が非常時に備えるために与えられた猶予期間と意識し、地域の方が少しでも被災しないよう、会員も含め知識向上と意識の啓発を涵養することと、この活動を通じて顔の見える関係づくりに努めていくことが大切であると考えます。

一層の関係団体等との連携強化と情報収集に努め、各団体が無理なく関心をもって取り組むことができるような減災啓発メニューの充実を図る必要がある。

### 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 25,000円**

消耗品費（10,567円）、保険料（7,830円）、使用料（1,242円）、食糧費（3,494円）  
通信運搬費（2,268円）

## 地域減災啓発事業 活動状況



自主研修会を開催し、地震・土石流の減災について学ぶ

## 竹林の環境整備事業

団体名：有間竹林愛護会  
代表者：原田 茂男  
補助回数：6回目（R3申請 無）  
活動場所：有間町内



### 事業の目的

有間町竹の下地内の竹林を整備（繁茂し荒れた竹林内の枯死した竹の除去や密集竹の間伐等を行うこと）し、矢作川河畔の景観を整えるとともに、河畔の散策ができる遊歩道の敷設により、地域住民及び来訪者に安らぎを与える癒しの場とする。

### 今年度の活動内容

コロナ禍により、ボランティアの学生・会社の社員有志等の援助がなく、会員だけの活動となったが、計画に沿って枯竹や密集竹の伐採、河川敷の除草に力を入れて活動した。

- ・月1回の定例作業の実施（会員参加延べ116名）
- ・小渡小学校の竹学習への参加（15名）
- ・橋の改良工事（プレスト管の埋設）の完了

### 事業効果

計画に沿って枯竹や密集竹の伐採、河川敷の除草に力を入れた。プレスト管埋設工事が予定どおり完了し、車の通行が可能になり、作業効率を高めることができた。

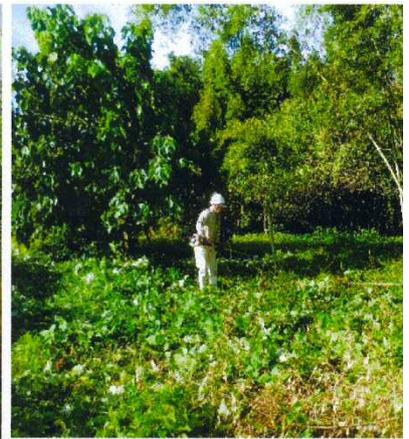
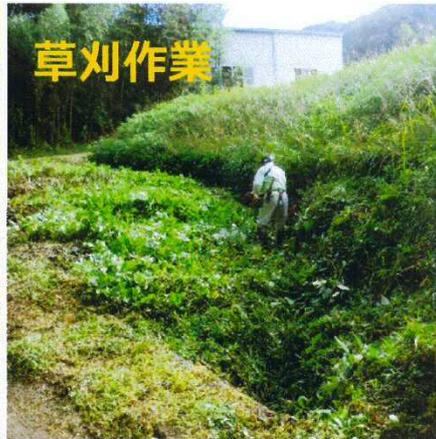
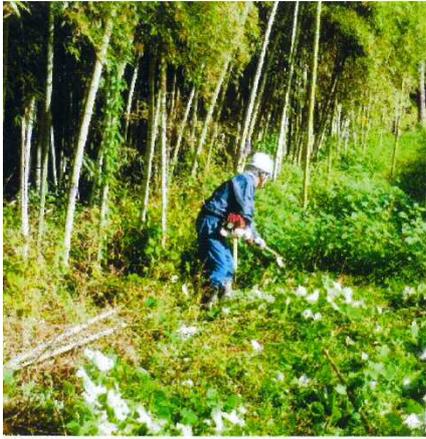
竹林の整備により、矢作川河畔の景観を整えるとともに、河畔の散策ができる遊歩道の敷設が行え、地域住民及び来訪者に安らぎを場の提供ができた。

### 補助金交付額と内訳（補助率10割）

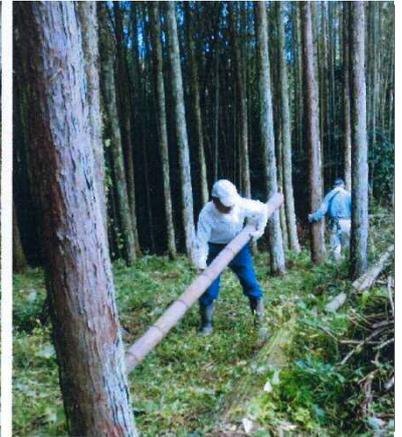
**補助金交付額 554,000円**

消耗品費（95,000円）、燃料費（6,000円）、修繕費（19,400円）、保険料（9,000円）  
工事費（424,600円）

# 竹林の環境整備事業 活動状況



草刈作業



間伐作業



施肥作業

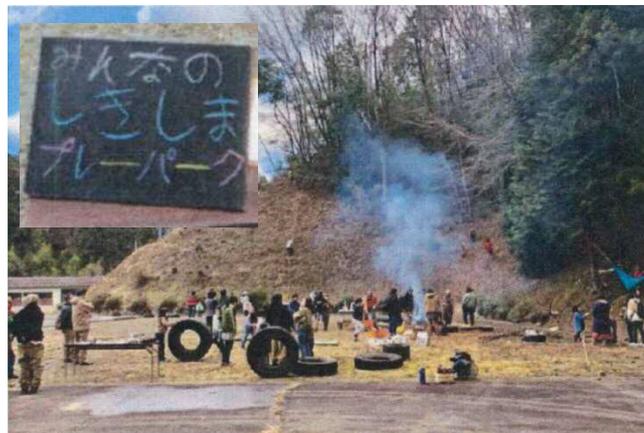
# 地域の施設とコミュニティ、特色を活かした、 魅力ある子育ての環境整備事業

団体名：みんなのしきしま  
プレーパーク

代表者：柳澤 二郎

補助回数：1回目（R3申請有）

活動場所：敷島自治区内



## 事業の目的

- ・子どもの居場所が欲しいというニーズと、子どもの育成のためになにかできたらというニーズを効果的につなげる。
- ・子どもが自由に遊び学ぶことのできるプレーパークを設立することで、地域の子どものための「活動の場」と世代を超えた住民の「交流の場」を創出する。
- ・より良い子育て環境をつくり、次世代にとっての地域の魅力創出につなげる。

## 今年度の活動内容

- ・現地探検会・体験会…しきしま会館前予定エリア探検会（8/29）、鞍ヶ池プレーパーク体験会（12/12）、稲武プレーパーク体験会（12/20）
- ・講演会・交流会…子どもの遊び場・居場所づくり講演会（1/30）
- ・プレーパークのプレ開催…しきしまプレーパーク開催（2/23・3/27）

## 事業効果

2月3月のプレ開催には延べ200人以上の参加があり、地区内にプレーパーク開催の意義を発信し、地区外の特に子育て世代に旭地区の魅力を伝えられた。

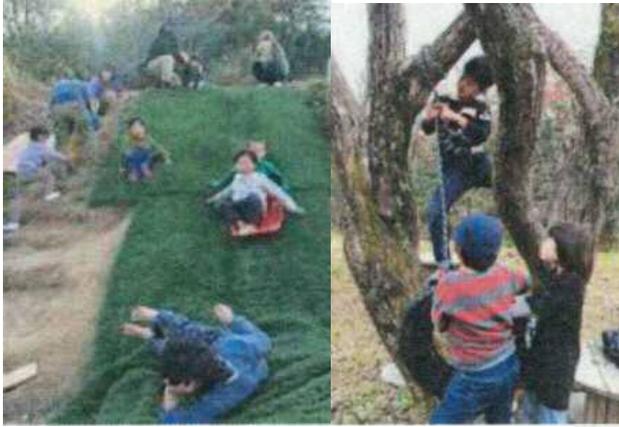
地域の方々から、物品提供の協力の申し出を多くいただき、子どもに対する優しさや子育て環境に対する行動力といった地域の魅力を見える化することができた。参加者にも地域の方々にも大変好評であった。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 113,000円**

報償費（50,000円）、旅費（13,500円）、消耗品費（10,450円）、印刷製本費（5,000円）、手数料（8,100円）、使用料（25,950円）

## 地域の施設とコミュニティ、特色を活かした、 魅力ある子育ての環境整備事業 活動状況



鞍ヶ池プレーパーク体験会



稲武プレーパーク体験会



子どもの遊び場・居場所づくり講演会（敷島会館&オンライン開催）



2/23・3/27 しきしまプレーパーク プレ開催@敷島会館

## あさひの木を使おまい事業

団体名：旭もくもく会  
代表者：伊藤 浩二  
補助回数：2回目（R3申請有）  
活動場所：旭地区全域



### 事業の目的

旭産材のPRによる地域産材の活用促進を図り、林産業の維持による森林環境の健全化につながる持続的な環境を創る。

### 今年度の活動内容

旭マルシェの会場を旭産材により目を引く場所にして、イベントのPR及びまちへの来客のおもてなしをおこなった。

- ・旭マルシェ会場（旧GS）の北側コンクリート面の木質化を実施
- ・おどの夢をかなえる会と連携し、空き店舗を活用した無料休憩所（小渡商店街休憩所）の旭産材による木質化
- ・旭産材を活用した木工体験を実施し、木の温かさを伝えた。

### 事業効果

多数の人々が目にし、触れられる場所の木質化により旭の木材の良さ（あたたかさ、リラックス効果など）を感じてもらえる場所ができた。また、木工に興味のある高齢者の生きがいつくりの事業をすることができた。

### 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 353,000円**

報償費（99,000円）、消耗品費（49,213円）、保険料（2,025円）、手数料（9,351円）、使用料（102,835円）、原材料費（90,750円）

# あさひの木を使おまい事業 活動状況

## 旭の木を使おまい事業



昨年度木質化のメンテナンスを行いました

いろいろな商品をつくりました

マルシェ会場の木質化  
(旧松坂屋GS)

空き店舗を木質化  
無料休憩所が完成  
おどの夢をかなえる  
会とのコラボ

旭マルシェにも参加しました

# ヤギとわくわくプロジェクト事業

団体名：ヤギ飼いの会

代表者：川合 美佳

補助回数：3回目（R3申請 有）

活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

- ・ 生き物との交流の場を提供  
子どもたちには命の大切さやあたたかさを五感を通じて学ぶ機会を提供し、地域や高齢者の方々にはヤギとの交流を通して元気になる、生きがいづくりに貢献。
- ・ 地域にワクワクの創出・場づくり、繋がりづくり
- ・ 地域材の有効利用によりその価値の再考を促し、旭の恵み（山の幸）として享受する。

## 今年度の活動内容

- ・ 出張ヤギとのふれあい会の実施（10回）
- ・ ファームを開放し、訪れる人にヤギとのふれあいの時間、場所を提供した（常時）。
- ・ 地元の大工さんの指導の下、木工ワークショップを実施し、地元材を中心に木を使ったものづくりを楽しんでもらった。
- ・ ファームの拡充及び飼育方法勉強会の実施

## 事業効果

出張ふれあい会ではぬくもりの里やあんじかないの協力を得て、お散歩やエサやりなどで高齢者の方々と触れ合うことができ、楽しいおしゃべりのきっかけづくりができた。  
ファーム開放ではヤギを通じた賑わいの創出ができた。  
木工ワークショップでは、地元の天然木を使った作品を創作し、日常生活の中で旭の山を意識することができた。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 443,000円**

報償費（94,500円）、消耗品費（48,760円）、使用料（49,500円）、原材料費（98,140円）、備品購入費（152,226円）

# ヤギとわくわくプロジェクト事業 活動状況

## ヤギのふれあい会

昨年度に引き続き旭地区内で「ヤギのふれあい会」を開催しました（全10回）  
 めくもりの里、あんじゃない、つくラッセルなどに協力いただき、高齢者、地域住民、子ども達にヤギと触れ合ってもらいました。  
 まだ産まれたばかりの子ヤギ達はどこへ行っても大人気！ ヤギを中心に笑顔の輪が広がりました～

あんじゃない



いつ訪れても、利用者さんとスタッフさんが笑顔で迎えてくれます



さんさんクラブの皆さんと

めくもりの里

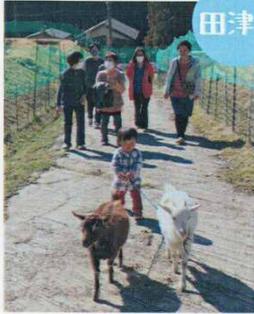


明賀

ふれあいサロン

生き物との暮らし方や植物の話をたくさん教えてもらいました

田津原



ふれあいサロン

一緒にたくさんお散歩をしてもらいました



敷島会館広場で行われたプレーパークに参加しました。

はじめはちょっとこわいかも！？

赤ちゃんから大人の方まで多くの方にふれあってもらいました

敷島プレーパーク



地元の大工さんに教えてもらい、木工ワークショップを行いました。地域材が、ステキに生まれ変わりました！



丸ノコを使ったり



ヤスリを使ったり



ヒノキの皮をむきます。いい香り～(^^♪

## 木工ワークショップ



暮らしの中に木を…

### 【作品例】

- ・ カuttingボード
- ・ プランターカバー
- ・ サイドテーブル
- ・ ポールハンガー

やった～ 完成！！



夜遅くまでかかりましたが、無事完成

# 持続可能な農村モデルづくり事業

団体名：歴史と自然豊かな  
押井づくりの会

代表者：鈴木 辰吉

補助回数：1回目（R3申請有）

活動場所：押井町内



## 事業の目的

押井町内の貴重な歴史資源と周辺の豊かな自然環境を守り、関係人口となる人々の助けを生き、ともに作る持続可能な農村モデルを探求する。

## 今年度の活動内容

- ・ふるさとアーカイブプロジェクト
  - ①人物…3名の取材実施
  - ②歴史…押井村誌等デジタル画像データ化
  - ③自然…自然観察会・植物調査、キジョラン調査、伊熊神社社叢原生林調査
- ・ビーフォレストプロジェクト  
人工林間伐と広葉樹林回復活動、日本みつばちの巣箱づくりワークショップ開催、炭焼き事業
- ・交流拠点づくりプロジェクト  
普賢院お掃除大作戦、持続可能な農村のあり方を考える会（3回）、押井の炭で排水浄化槽づくり、バイオトイレガスづくり（牛糞から種菌づくり）

## 事業効果

事業内容はかなりのボリュームであったものの、それぞれがプロジェクトチームをつくることにより、押井の住民と関係人口となる人々とは協力し合うことで概ねの事業を完了することができた。これからの新しい自治モデルを模索する上でよい実績をつくることのできた。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

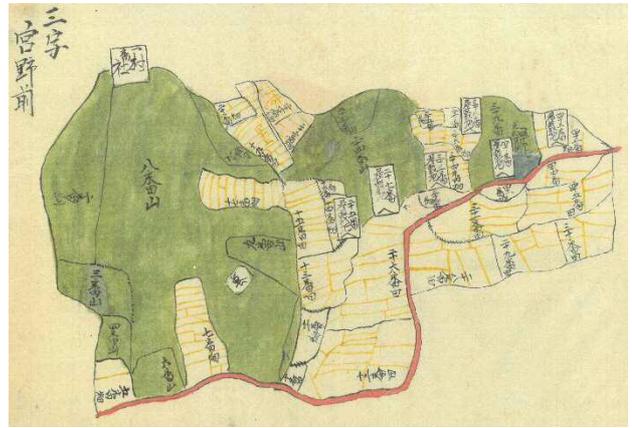
**補助金交付額 595,000円**

報償費（106,920円）、消耗品費（147,320円）、燃料費（3,682円）、手数料（84,628円）、委託費（252,450円）

# 持続可能な農村モデルづくり事業 活動状況



自然観察会



押井村誌等デジタル画像データ化



取材して人物アーカイブを作成



日本みつばちの巣箱づくりWS



人工林間伐作業と広葉樹林回復活動



持続可能な農村のあり方を考える会

# 旭中サンライズプロジェクト事業

団体名：旭中サンライズプロジェクト

代表者：藪崎 昭彦

補助回数：1回目（R3申請有）

活動場所：旭地区全域



## 事業の目的

旭をふるさととする旭中学校の生徒が、仲間や地域の人々と共働しながら課題を解決するために、旭中学校の教育課程での学びを生かし、地域の活性化を目指し活動することを目的とする。

## 今年度の活動内容

「さんさん旭さん」という旭地区 PR キャラクターを作成した。  
Instagramを開設し、校内の様子や旭地区の風景を写真や動画で投稿し、旭の魅力を発信した。旭マルシェや旭高原元気村のそりすべりイベントに参加し、「さんさん旭さん」を活用しながら地域を盛り上げた。

## 事業効果

中学生が旭地区の PR 活動をしたことによって、旭地区の刺激になり、多くの方々から旭地区を注目してもらえるようになった。

Instagramのフォロワー数が100人を超え、地域おこしに携わる方々とつながることができた。

## 補助金交付額と内訳（補助率9割）

**補助金交付額 235,000円**

備品購入費（235,000円）

## 旭中サンライズプロジェクト事業 活動状況



「さんさん旭さん」完成お披露目会



小渡のひだやさんにごあいさつ



旭観光協会にごあいさつ



旭マルシェのお手伝い



旭マルシェのお手伝い



旭高原雪そりゲレンデの  
オープニングイベントに参加



**【問合せ先】 お気軽にお問い合わせください**

豊田市役所 地域振興部 旭支所 地域振興担当

〒444-2892 豊田市小渡町船戸 15-1

電話 0565-68-2211 FAX 0565-68-3476

E-mail [asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp](mailto:asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp)